

平成25年度第1回 福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会
現地調査実施要領

平成25年 4月 3日
福島県原子力発電所の廃炉
に関する安全監視協議会

1 目的

福島第一原子力発電所において、平成25年3月18日に発生した停電トラブルにより、使用済燃料プール代替冷却設備等が長時間にわたり停止した件について、原因と再発防止対策等について、東京電力に説明を求めるとともに、現場状況の確認を行う。

開催に当たっては、本協議会の活動について県民に広く周知するため、県政記者クラブ加盟各社の取材を可能とする。

2 日時

平成25年4月3日（水）10時30分～15時30分

3 場所

福島第一原子力発電所（双葉郡大熊町・双葉町）

4 出席者

(1) 廃炉安全監視協議会構成員（専門委員、県生活環境部、関係13市町村）

(2) 説明者 東京電力株

5 調査内容

(1) 現地調査

【主な調査箇所】（別紙行程表参照、※は下車）

- 仮設3／4号M／C（A） : 事故箇所※
- 共用プール仮設P／C : 停電による停止設備※
- 4号機使用済燃料プール代替冷却設備 : 停電による停止設備※
- プロセス建屋常用M／C : 停電箇所、復旧、再発防止※
- プロセス建屋後備M／C : 再発防止※
- 1・2号使用済燃料プール電源切替盤 : 再発防止※
- 仮設ディーゼル発電機 : 予備電源
- 乾式キャスク一時保管設備 : 廃炉取組の進捗状況
- 多核種除去設備（ホット試験） : 廃炉取組の進捗状況
- 遠隔監視システム : 故障の監視、再発防止

(2) 会議

○停電トラブルの原因と再発防止対策について

（3月19日の県からの申し入れに対する東京電力の3月28日の回答）

- ・停電トラブルの原因調査と安全を最優先とした電源の復旧策の実施
- ・電源設備の信頼向上と監視体制の強化の加速
- ・重要設備のトラブルについて、リスクのわかりやすい説明と、県民への迅速丁寧な情報提供

○県の申し入れ（3月28日）に対する対応状況について

- ・電源の多重化、本設化への早急な取り組みによる信頼性の向上
- ・遠隔監視体制の強化に関する速やかな対策の実施
- ・復旧見込み等を含めた分かりやすかつ迅速な県民の立場での情報提供

○滞留水処理の課題と今後の予定 : 第1回会議後の進捗状況

- ・多核種除去設備、地下水バイパス、タンク増設計画、遮水壁

以上